



読み聞かせボランティアが選んだ
一度は読みたい絵本



いよいよ学校も始まりますね。世の中が混乱している状態かもしれませんが、本の提供が続けられる限り、おはなし会通信も続けていきますね。少しでも気持ちに余裕ができるよう願っています。

◎ **【なめれおん】** あきやまただし著 倭成出版社

なめれおん君は、何でもなめちゃうカメレオン。

なめるとなめた物の色が変わってしまいます。赤色、黄色、白色、桃色、黒色と変わるなめれおん君。

さてさて、一体何をなめたのでしょうか？

《読み聞かせボランティアあいあい》



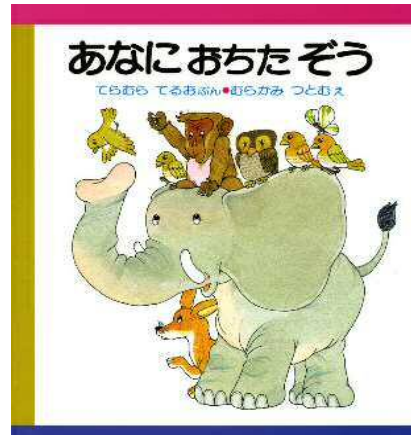
◎ **【あなにおちたぞう】** 偕成社

てらむてるお 文 むらかみつとむ 絵

おおきな穴に、おおきなぞうが落ちてしまいました。

さるが助けようとしますが、落ちてしまい、反対にぞうに助けられます。動物たちが力を合わせて無事に穴から出られたぞうでしたが・・・。

《読み聞かせボランティアおおきな木》



◎ **【ぼくはいかない】** ポプラ社

柴田愛子 作 伊藤秀男 絵

みんな楽しみにしている子供たちだけの夏のお泊りキャンプ。しんちゃんは『いかない』選択をします。

自分の気持ちを伝える勇気、その時の周りの反応。

自分が親だったら……。大人も考えさせられる1冊です。 《読み聞かせボランティアだるまさんの会》



ぜんぶ、大師図書館に所蔵のある絵本です。ぜひご覧になってください。貸出中でしたらごめんなさいね。予約することもできますよ。大師図書館カウンターにお声をかけてください。

プラザ大師 044-266-3550